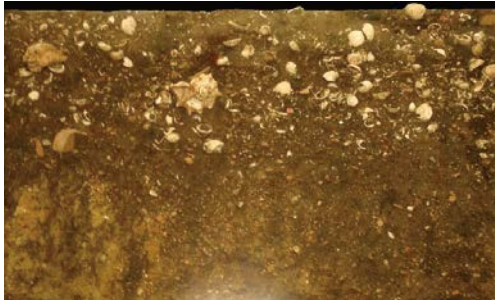




貝塚の中から 何が出てくるの？



実際の貝塚の断面の一部(剥ぎ取り土層断面)

貝塚から出てきたものの一部



食べ終えた貝がらや動物の骨だけでなく、実際に縄文時代に使われていた生活道具(土器や石器、骨角器、土偶など)が出てくるよ。まるで、タイムカプセルのようだね。



大曲輪貝塚に いってみよう!



瑞穂公園陸上競技場の西側にある縄文時代の遺跡です。昭和16年(1941)に縄文時代の遺跡として東海地方で初めて国の史跡になりました。

面積は489.52㎡で一般的な25mプール1.5個分の広さです。



アクセス

名古屋市瑞穂区山下通五丁目一番 (瑞穂公園内)

- 名古屋市営地下鉄名城線
「瑞穂運動場東」駅 3番出口より西へ徒歩 6分
- 名古屋市営地下鉄桜通線
「瑞穂運動場西」駅 3番出口より東へ徒歩 9分

大曲輪貝塚に関する問い合わせ先

名古屋市教育委員会事務局
生涯学習部文化財保護課

TEL052-253-9279 FAX 052-253-9217

E-mail:a3268@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

国指定史跡

お お ぐる わ かい づか

大曲輪貝塚

探検ファイル

Oguruwa Shellmound Exploration File

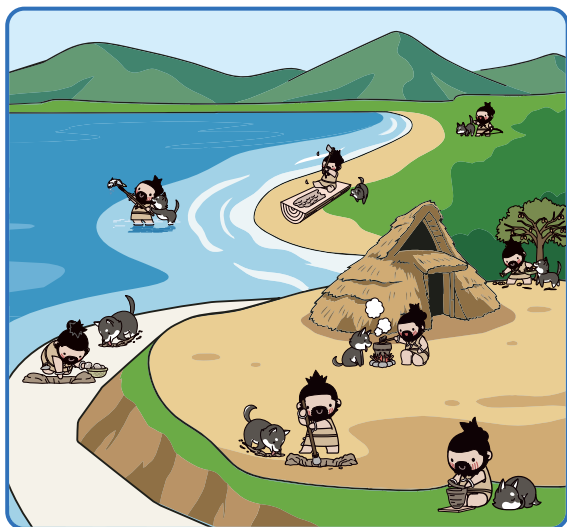
(名古屋市瑞穂区)

6,000年前の人びとが残した 生活のひみつ!

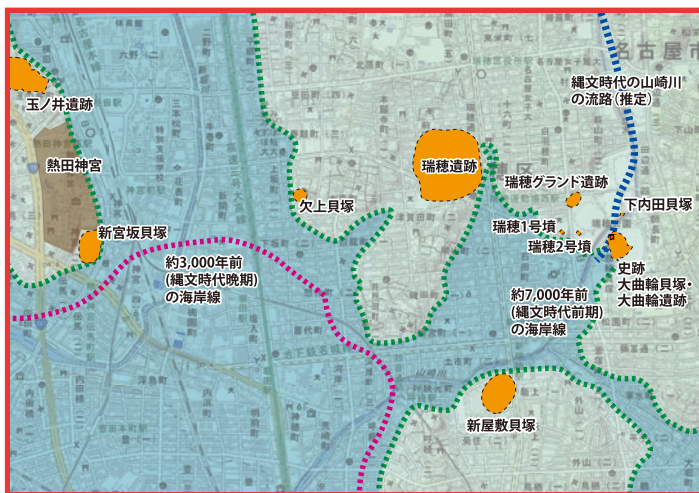


名古屋市教育委員会

No.1 大曲輪ムラの環境はどうだった？



No.2 海はどこにあったの？



..... 約3,000年前(縄文時代晩期)の海岸線
 約7,000年前(縄文時代前期)の海岸線
 地理院地図 1/25,000を加工して使用

No.3 国指定史跡 大曲輪貝塚って何？

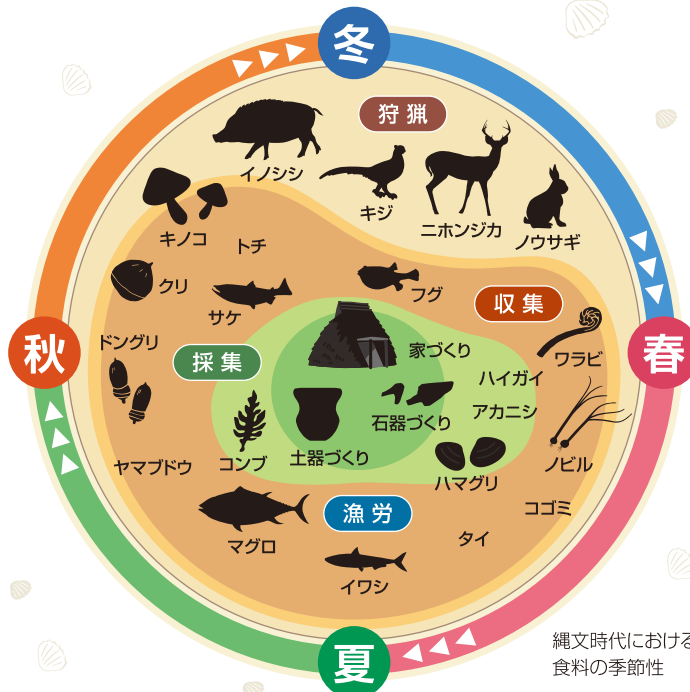
今から6,000年前の縄文時代…

この地には海が面しており、人びとは、豊かな恵みを求めて暮らし始めました。縄文人が食べていた貝・魚・動物の骨がたくさん捨てられ、貝塚ができました。貝塚からは、こわれた土器や道具、土偶、人やイヌの骨も見つかっています。

貝塚では、貝がらを持つアルカリ性の成分が土壌を中性に保つことから、捨てられた動物の骨や角が分解されず、長い間形を保って残されています。

東海地方における縄文時代の暮らしを知るうえで学術上の大切な遺跡であることから、国指定史跡に指定されています。

No.4 何を食べていたの？ 大曲輪ムラの四季



縄文時代における食料の季節性

No.5 どんな道具を使っていたの？



左:狩猟用のやりの復元模型
 【細石刃】
 旧石器時代 約17,000~15,000年前

右:狩猟用の弓矢の矢の復元模型
 【石鏃 根ばさみ】
 縄文時代 約4,500~4,000年前

縄文時代になると、弓矢が使われるようになりました。石鏃がたくさん見つかっており、入手しやすいチャートだけでなく、大阪周辺や下呂(岐阜)・長野、さらに200km以上離れた伊豆諸島の石なども使われていました。

さまざまな石材を手に入れるために、広い範囲で交易がおこなわれていたと考えられます。

No.6 どんなおしゃれをしていたの？



ベンケイガイ製の貝輪の復元模型(左)と加工前のベンケイガイ(右)

縄文人が身につけていた道具も見つかっています。貝で作った腕輪、石や粘土で作ったピアスやネックレスが見つかっています。縄文人もおしゃれを楽しんでいたのでしょうか。

大曲輪では手に入りにくいベンケイガイは、渥美半島の太平洋側と交易をして手に入れていたと考えられます。

また、成人や結婚のしるしとして特定の歯を抜くなどの習わしもあったようです。